

これからの活動のための話し合いと各種報告がありました。

出前授業「原三溪を学ぶ原三溪に学ぶ」教材作成について

審議事項／担当：廣島さん

原三溪のことを広く知ってもらうことを今後の研究会活動の大きな軸とするべく、地域の子どもたちを対象として出前授業を展開するにはどのような準備が必要かを話し合いました。会員の中には民間の立場から小学校で話をした経験がある人や元教員がいて、いくつかのノウハウの提案がありました。まずは教材を作成するとしてどのような題材を取り上げるかを検討することとなりました。



9月スタディツアーについて

審議事項／担当：藤嶋さん

原三溪の別荘であり、藤本實也が『原三溪翁伝』執筆の際に滞在した南風村荘（なんふうそんそう）の跡など中心に、伊豆長岡を訪ねる方向で準備を進めることになりました。

岐阜で原三溪の見学ツアー

報告事項／担当：尾関さん

岐阜の「原三溪・柳津文化の里構想実行委員会」が去る6月2日に開催した柳津町の佐波八幡神社や神戸町の日吉神社などの見学ツアーについて、本会の岐阜支部担当で柳津文化の里の会員でもある尾関さんから報告がありました。なお、この見学ツアーの記事が6月3日付朝日新聞の岐阜版に掲載されました。



その他

◆築比地さんから、長野県産の蚕のさなぎの甘露煮が振舞われました（左図）。昔は貴重な蛋白源だったとのことですが、懐かしいというよりは初めて食べる会員の方が多かったようです。イナゴと比べると食べやすいという感想も聞かれました。

◆原三溪市民研究会「会報」第4号が刊行されました。神奈川県内の公共図書館などへの発送作業も行いました。